

INFORMATION

No. 1004-05

「胃癌取扱い規約改訂」に伴うお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標題の件に関しまして、約10年ぶりに「胃癌取扱い規約」が改定され、本年3月3日付けにて「胃癌取扱い規約 第14版」が発行されました。

今回の規約改訂に伴い、平成22年5月6日診断分より、弊社の病理診断報告書の記載は「胃癌取扱い規約 第14版」に基づく診断に移行させていただきます。

先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒宜しくご了承のほどお願い申し上げます。

敬具

改訂のポイント

改訂の主なポイントと致しましては、胃生検組織診断分類(Group分類)の記載方法がローマ数字から算用数字に変更になり、また、Group2の内容が大幅に変更されています。

※「胃癌取扱い規約改訂 第14版」のポイント

:病理と臨床 日本胃癌学会病理系規約委員会 より抜粋

Group分類改訂の重要点

(1)改訂のポイント

「正常あるいは非腫瘍性の良性病変(Group1)」、「腺腫(Group3)と「癌(Group5)」に分類し、さらに「非腫瘍か腫瘍かの判定が困難な病変」をGroup2、「腺腫か癌かの判定が困難な病変」をGroup4と分類した。また診断不適材料をGroupXとした。

(2)特に注意したいこと:Group2

新しいGroup分類を適用するにあたって最も注意したいのはGroup2である。これまでのイメージからすると2あるいはⅡという数字は細胞診のClass分類と同様、軽く扱われる可能性が残るからである。今回の改訂で、腫瘍の可能性を疑うが腫瘍性病変(腺腫または癌)と断定できないあるいは腫瘍性か非腫瘍性かの判定が困難な場合にGroup2が適用される。つまり、Group2という枠内に癌を有する可能性のある症例が含まれる。新分類Group2の範疇とした場合は、判定困難な理由とともに疑われる診断名を必ず記載し、再生検による診断確定を行うべきである。

株式会社 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8
TEL 04-2964-2621 FAX 04-2964-6659
URL <http://www.e-musashi.co.jp>

* お問い合わせは当社または担当者までお願いいたします。